

科目コード	N305
授業科目名	成人看護学実習(慢性期)
授業科目名(英文)	Clinical Practice in Adult Nursing (Chronic Care)
講義室等	実習施設
学科	看護学科
対象学年	3年
開講学期	後学期
必修・選択の別	必修
単位数	3
時間数	135
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-4、○看CP-3、△看CP-5
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	教務部長
授業の概要	慢性的な健康課題を有する対象や家族を理解し、看護実践に必要な基礎的能力を習得する。また、さまざまな生活状況やライフスタイルをもつ対象を全人的に捉え、看護過程の展開を通して基礎的な看護実践方法を学ぶ。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 受け持ち対象や家族を尊重し、援助的人間関係を構築できる。 2. 受け持ち対象の健康課題を把握し、その課題解決・目標達成に向けた看護過程を系統的に展開できる。 3. 慢性的な健康課題を有する対象を理解し、根拠に基づいた看護援助を安全・安楽・自立の視点および倫理的配慮のもと実践できる。 4. 慢性的な健康課題を有する対象に応じたヘルスケアシステムを理解し、チーム医療の重要性について理解できる。 5. 報告やカンファレンスなどを通じて多面的・総合的に看護実践を考察し、学習のまとめを行うことができる。 6. 自律的、主体的に学ぶ知識、技術、態度を身につけ、自己研鑽し続けることの意義を理解し、看護者になる上での自己課題について考察できる。
予習復習の所要時間	実習時間135時間
成績評価方法	実習記録・実習評価(90%)、参加の仕方(10%)により、総合的に判定する。100点満点中60点以上を合格とする。
教科書	特になし
参考書	鈴木志津枝、藤田佐和 編集 「慢性期看護論 [第3版]」 ヌーベルヒロカワ 2014 江川隆子 編集 「ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 第5版」 ヌーベルヒロカワ 河口てる子 編 「看護の教育的関わりモデル」 メディカ出版 2017 安酸 史子 編集 「ナースング・グラフィカ 成人看護学(3):セルフマネジメント 第4版」 メディカ出版 2022
その他	*詳細については臨地実習要項及び実習の手引きを参照すること。

		実習内容・実習場所	実習の形態	実習担当者
1	第1週目	1日目：全体オリエンテーション、午後病棟実習、学内演習 2～5日目：病棟実習（5日目：病棟カンファレンス）		教務部長
2	第2週目	1～4日目：病棟実習（木：病棟カンファレンス） 5日目：看護実践報告会、外来診療部門オリエンテーション	・病棟実習 ・看護実践報告会は学内でプレゼンテーションを行う ・実習の手引きを用いて外来診療部門・入院支援室のオリエンテーションを行う	教務部長
3	第3週目	1～4日目：外来診療部門（腎センター、内科外来）・入院支援室実習、グループワーク 5日目：テーマカンファレンスと外来診療部門・入院支援室実習での学びの報告会	・外来診療部門・入院支援室実習 ・テーマカンファレンスの発表準備 ・外来診療部門・入院支援室での学びの報告会の発表準備 ・テーマカンファレンス、学びの報告会は学内でプレゼンテーションを行う	教務部長